



開物成務

発行責任者
逗子開成学園校友会
〒249-8510
逗子市新宿 2-5-1
逗子開成学園内
TEL.046(871)2062
<https://z-kaisei.org/>
E-mail:info@z-kaisei.org

題字・逗子開成学園
元理事長 徳間康快氏

「開物成務」の由来
人間性を開拓・啓発し、
人としての務めをなす

令和8年度校友会総会開催

令和8年度校友会総会は6月13日(土)、母校徳間記念ホールで開催されました。

来賓として逗子開成学園黒理事長、逗子開成中学・高等学校から小和田校長、土田PTA会長をお迎えし、学校法人より、柳瀬理事、富田理事(賛助会)と水谷理事にもご参加いただきました。

午後2時、総会に先立ち、吹奏楽部OB会が田中秀明さん(高30回)の指揮により「開成マーチ」を演奏していただきました。

その後、矢込泰敏幹事長(高41回)の司会で開



葉袋純二校友会長

また決算報告、予算案が山本委員により報告され、議事は滞りなく終了しました。

議事

令和7年度の校友会活動につきまして、その概要と、令和8年度の事業計画(案)を報告いたします。本年度も「卒業生のネットワーク」と「充実した人生を送るための機会提供」を二本の柱に、母校・在校生・校友をつなぐ多彩な活動を展開してきました。

1. 校友会の意義と課題
校友会は、世代・地域を超えた校友のつながりを育み、母校の価値と魅力を高めることを使命としています。卒業生・在校生・教職員・保護者・地区会を含めた「オール逗子開成」の輪を築くとともに、同期会・地区会・クラブOB会を通じて、懇親、校友同士のビジネス交流、そして留学・クラブ支援や表彰といった学校への価値還元に取り組んでいます。

す。第一に、会費納入会員の減少が続く中での会員・資金の確保。第二に、会員管理・決済・情報配信を支えるデジタル基盤の整備。第三に、常任幹事・委員会メンバーの世代交代と運営人員の拡充。第四に、学校・在校生・保護者会・クラブOB会との連携強化です。これらの課題に対し、SNS・YouTubeの活用、賛助金・物販による財源の複線化、「オール逗子開成プラットフォーム」を通じて情報発信などで対応を進めています。

2. 財務基盤の強化
令和7年度の収入は、会費157万6千円(払込会員788名)、賛助金137万3千円(払込会員324名)で、会費・賛助金の合計は述べ千円となりました。会費納入会員数は5年間で約28%減少し、本年度は788名(前年比0.4%減)となっています。これに加え、物販(グッズ)売上は約138万円となり、活動原資を支えています。



橋山DX委員によるスクリーンを使用した説明

3. 母校との連携強化
第6回ホームカミングデー(5月24日、卒業10年・20年対象を開催し、DX委員が当日のオンライン受付・撮影・配信をサポートしました。本年度新規の取り組みとして、医学部受験生向けの土曜講座(7月)、各分野で活躍する校友による在校生向け母校講演を実施。海洋教育センターでの同窓会開催も継続的に支援しました。

円を抛出しました。留学支援はニュージーランド短期14名・アメリカ長期2名の計16名に19万円、クラブの対外競技支援は関東大会・全国大会等の7件に15万4千円、校内競技等の表彰(持久走大会・百人一首大会・英語プレゼン大会・卒業記念品など)に8万2千円を充てています。

4. 各種イベントの開催
本部・地区会を通じて、年間を通じて校友の交流機会を創出しました。本部では中学・高校体育祭

次ページへ続く



目黒泉理事長

父親懇親会、夏祭り in 新宿、賛助会総会、八方尾根慰霊登山、開成祭、第17回ゴルフ大会、忘年会、二十歳の会、瀧川鯉丸真打昇進祝賀会などを開催。開成祭には約1200名が来場しました。地区会でも、川崎横浜会(花見屋形船・総会&クルージング・ビジネス交流懇親会・新年会)、横須賀三浦会(合併総会・プロ野球観戦)、湘南会(総会・BBQ)、鎌倉会(稲村ヶ崎ボート遭難碑清掃・田邊学祖墓参)、逗子会、東京会(総会)など、各地で活発な活動が行われました。

ビジネス交流会は第2回を開催し、世代を超えた約30名が集まりました。本年度の新たな取り組みとして、「オール逗子開成プラットフォーム」の運用を開始しました。学校と卒業生間をつなぐ情報基盤で、母校情報の配信、在校生支援、登録

者間のネットワーク機能を備えています。2026年5月時点で登録者は約1500名に達し、イベント告知・校友コミュニケーションの主軸チャネルとなっています。

また、学校と校友会が協働する「校史編纂委員会」では、図書室所蔵資料の目録化(約1千点入力済)、学籍簿・職員履歴書の画像データ化(撮影完了)を進めています。卒業アルバム・生徒手帳・記念品・写真など、ご自宅に眠る逗子開成関連の品のご寄贈をお願いいたします。

5. 校友会のPR SNS・YouTubeでは、イベントレポートの最新情報動画、校歌・応援歌、活躍する校友の特集を3つの柱として発信しています。YouTubeの年間視聴回数は7万6千回、チャンネル登録者は834名(前年比+338)、公開動画は30本以上となりました。



小和田亜土校長



土田哲PTA会長



米田類さんによる留学報告



上村進さんによる留学報告

校友会会報『開物成務』は年2回(1月・7月)、毎号5千部を発行し、校友約2500名のほか教職員・PTA・賛助会の皆様などにお配りしています。

会報『開物成務』のデジタル化については広報委員会とDX委員会の合同作業として、2028年7月(79号)の完全デジタル化に向け、段階的な移行を進めてまいります。目的は、通信費の削減、発送の効率化による運営負担の軽減、そして若年層の会員獲得促進です。

会員の皆様には、今後の同封案内を通じてご意見を伺いするとも見を、従来の紙版を希望される方への配慮も継続してまいります。

令和8年度の総会では会員の皆様の承認を得て無事に閉会しました。議事終了後、今回は2名の在校生から留学報告が行われました。

米田類さんからはアメリカ・ニューハンプシャー州への留学報告。上村進さんからはカナダ・BC州への留学報告があり

ました。留学の機会を得て大変貴重なできたこと、支援へのお礼が二人から報告されました。

その後来賓の方の挨拶をいただき、目黒泉理事長からは130周年に向けた校舎建て替えが具体的に動き出したことなど、中長期の課題に向けた取り組みが話されました。

続いて小和田亜土校長からは新たな取り組みとして教室を午後9時まで開放し、自習環境を整えたこと。この管理には現役大学生の卒業生を充てている話がありました。

土田哲PTA会長からはご子息の三名が逗子開成で学んだため十年に渡り学校に関わってきたこと、近年は校友会と共に活動する機会を得て感じたことなどを話されました。

総会の締めくくりは吹奏楽部OB会によるアトラクションの演奏が行われました。大西勝也(高39回)吹奏楽部OB会代表から今回の選曲について説明をいただき、30名のOBの皆さんの素晴らしい演奏と逗子開成サウンドを披露していただきました。

このメンバーの中には吹奏楽部顧問の千葉先生もトロンボーン奏者として参加いただきました。全てのプログラムが終了し、場所を海洋教育センターに移して懇親会が行われました。

千葉琢巳特別顧問(高10回)の乾杯の音頭で会員、初めて参加した若い会員など年齢の垣根を越えて和やかな懇談の時間を過ごしました。

宴の途中で、5月10日に亡くなられた宇野一成先生(高29回)の教え子の吹奏楽部OB5名により、真白き富士の根を含む2曲が献奏されました。

その後も懇親は続き、吹奏楽部OBの協力を得て、応援歌を大合唱、最後に後藤前校友会長のリーダーにより校歌とエールで締めくくり懇親会を終了しました。

成で学んだため十年に渡り学校に関わってきたこと、近年は校友会と共に活動する機会を得て感じたことなどを話されました。

総会の締めくくりは吹奏楽部OB会によるアトラクションの演奏が行われました。大西勝也(高39回)吹奏楽部OB会代表から今回の選曲について説明をいただき、30名のOBの皆さんの素晴らしい演奏と逗子開成サウンドを披露していただきました。

その後も懇親は続き、吹奏楽部OBの協力を得て、応援歌を大合唱、最後に後藤前校友会長のリーダーにより校歌とエールで締めくくり懇親会を終了しました。

成で学んだため十年に渡り学校に関わってきたこと、近年は校友会と共に活動する機会を得て感じたことなどを話されました。

総会の締めくくりは吹奏楽部OB会によるアトラクションの演奏が行われました。大西勝也(高39回)吹奏楽部OB会代表から今回の選曲について説明をいただき、30名のOBの皆さんの素晴らしい演奏と逗子開成サウンドを披露していただきました。

その後も懇親は続き、吹奏楽部OBの協力を得て、応援歌を大合唱、最後に後藤前校友会長のリーダーにより校歌とエールで締めくくり懇親会を終了しました。



逗子開成学園校友会総会

校友の絆を紡ぐ



逗子開成学園校友会会長

葉袋 純二

(高29回)

お願いいたします。

総会において事業報告・計画を発表しました。

世代を超えて語り合える場をつくることを目指し、地区会イベントにおける校友の繋がりを推進、ビジネス交流会(本部企画イベント)など「あらゆる世代における絆を紡いでいく機会の創出」を進めてまいります。

また、PTA、賛助会(PTAOB会)の皆さまと開成祭においての企画運営を協働するなど、共に学校の発展、生徒の皆さまへの協力を引き続き実践して参ります。

卒業生の皆さまのご活躍こそが学園にとりましてもなによりの誇りです。どうかご家族ともども健康やかにお過ごしになり、これからも逗子開成の仲間として共に歩んでまいります。

引き続き、精一杯務めて参りますのでよろしく

収支計算書

令和7年4月1日~令和8年3月31日

逗子開成学園校友会
単位: 円

一般会計	科目	予算額	決算額	差異
一般会計	総収入金	420,000	347,000	△ 73,000
	会費収入	1,340,000	1,340,000	0
	参加費収入	1,800,000	1,576,000	△ 224,000
	入会金収入	1,700,000	1,444,000	△ 256,000
	会費収入	100,000	132,000	(△ 32,000)
	広告収入	100,000	0	△ 100,000
	事業収入	1,300,000	1,378,836	78,836
	祝儀収入	80,000	50,000	△ 30,000
	祝儀収入	900,000	1,373,800	473,800
	寄付金・賛助金	5,000	22,316	17,316
	前受金収入	40,200	19,800	△ 20,400
	受取利息	800	1,283	483
	経常収入合計①	5,986,000	6,109,035	△ 226,965
	<経常支出の部>			
一般会計	総会費	550,000	450,840	△ 99,160
	会議費	10,000	0	△ 10,000
	事務費	50,000	41,918	△ 8,082
	印刷費	200,000	281,631	81,631
	通信費	400,000	924,438	524,438
	広報費	50,000	63,237	13,237
	広報費	350,000	308,000	△ 42,000
	広報費	100,000	150,000	50,000
	広報費	900,000	1,072,660	172,660
	広報費	120,000	104,030	△ 15,970
	広報費	550,000	537,570	△ 12,430
	広報費	600,000	483,564	△ 116,436
	広報費	80,000	82,655	2,655
	広報費	50,000	0	△ 50,000
	広報費	350,000	190,000	△ 160,000
	広報費	250,000	154,000	△ 96,000
	広報費	500,000	328,461	△ 171,539
	広報費	850,000	722,000	△ 128,000
	広報費	6,200	38,000	31,800
	広報費	5,000	0	△ 5,000
	広報費	50,000	0	△ 50,000
	経常支出合計②	6,021,200	5,933,004	△ 388,196
	経常収支差額(①-②)	14,800	176,029	161,229
	(その他資金収入の部)			
	前期未収入金	0	0	0
	その他資金収入合計	0	0	0
	(その他資金支出の部)			
	前期未払金	0	0	0
	固定資産取得支出	720	212	△ 508
	その他資金支出合計	720	212	△ 508
	当期収支差額	14,800	176,029	161,229
	前期繰越収支差額	694,576	694,576	0
	次期繰越収支差額	708,656	870,605	161,949

令和8年度 予算(案)

令和8年4月1日~令和9年3月31日

一般会計	科目	予算額	摘要	7年度実績
(経常収入の部)	総収入金	300,000	総会懇親会参加60名×@5,000円	347,000
	入会金収入	1,310,000	262名×@5,000円(4年間)	1,340,000
	会費収入	1,800,000	900名(地区会850名+地区外50名)×@2,000円	1,576,000
	広告収入	100,000	会報掲載等	0
	事業収入	1,300,000	新グッズ企画と販売促進	1,378,836
	祝儀収入	100,000	総会、忘年会等	50,000
	寄付金・賛助金	1,300,000	校友から	1,373,800
	雑収入	5,000		22,316
	前受金収入	16,000	年会費前納分	19,800
	受取利息	1,000	定期預金他	1,283
	経常収入合計	6,232,000		6,109,035
(経常支出の部)	総会費	550,000	懇親会費用、総会業者受取人私郵送料、総会事務費	450,840
	会議費	10,000		0
	事務費	50,000	事務用品費(文房具・コピー用紙・宛名ラベル・インク他)	41,918
	印刷費	280,000	総会案内状・出欠用ハガキ印刷・封筒印刷	281,631
	通信費	700,000	総会案内状・会報郵送費、会員増強費	924,438
	支払手数料	50,000	年会費払込料加入者負担分	63,237
	広報費	350,000	会報編集・印刷費、取材諸経費	308,000
	広報費	150,000	学校行事祝儀、香典等	150,000
	事業支出	1,000,000	グッズ制作	1,072,660
	新入生記念品	120,000	中学入学祝	104,030
	卒業生記念品	530,000	高校卒業祝(校章・校名入りボールペン)	537,570
	活動費	600,000	常任幹事交通費、ネット通話料等	483,564
	生徒顕彰費	80,000	コンテスト等入賞者へ校友会費、持久走メダル贈呈	82,655
	奨学生支援費	50,000	振興会奨学金制度の補完として、教材費を支給	0
	海外留学生支援費	200,000	長期留学生(人/30,000) 短期留学生(人/20,000)	190,000
	クラブ活動助成費	200,000	関東大会(20,000) 全国大会(30,000)	154,000
	情報管理費	350,000	HP維持・管理費、インターネット接続料、データ管理料他	328,461
	地区会援助金	850,000	850名×@1,000円	722,000
	前受金支払	2,000	年会費前納分	38,000
	雑費	5,000		0
	予備費	50,000		0
	経常支出合計	6,177,000		5,933,004
	経常収支差額	55,000		176,029
	固定資産取得支出他	720		212
	前期繰越金	870,605		694,576
	次期繰越金	824,885		870,605



高29回 宇野 一成さん
高27回 中澤 淳一さん
高22回 森谷 仁志さん
高21回 河野 基充さん
高20回 岩田 秀則さん
高19回 田倉 進さん
高18回 関野 次廣さん
高17回 山森 憲治さん
高13回 武藤 礼生さん
高13回 辻村 朗さん
高13回 須藤 義明さん
高12回 生盛 昭男さん
高12回 関 哲さん
高10回 石渡 俊夫さん
高10回 山下 五三さん
高10回 田中 聡さん
高10回 市川 満雄さん
高10回 石渡 長治さん
高10回 小峰 和夫さん
高43期 定時5回 藤 礼生さん
高43期 定時1回 小金井 敏幸さん
謹んでお知らせします。

おぐやみ

ご遺族や各地区会などから寄せられた計報です。

早稲田大学体育会ヨット部

主将 桔川慶次郎(高75回)



初めまして。2023年卒の桔川慶次郎と申します。この度は校友会「開物成務」への寄稿の機会をいただき、大変光栄に存じます。

現在は早稲田大学創造理工学部建築学科に在学し、早稲田大学ヨット部で主将を務めています。

慶応義塾大学体育会ヨット部

主将 岩佐忠直(高76回)

セーリングを上げて風を捉え、沖に出る。そのシブな瞬間に、私は今も変わらず魅了され続けています。

はじめに、校友会報「開物成務」への寄稿の機会をいただき、誠に光栄に存じます。私は2024

年に逗子開成を卒業し、現在は慶応義塾大学体育会ヨット部に所属しております。伝統ある部の一員として、チームとしても一選手としても日本一という高い目標を見据え、日々逗子の海で練習に励んでいます。



私にとって逗子開成での6年間は、現在の活動に繋がる大切な原点です。中学ヨット部では風を捉えて進む純粋なヨットの愉しさを学び、高校ヨット部では一転して真剣に競技に向き合うなかで、技術だけでなく人間としても大きく鍛えられました。私たちがこれほど深く部活動に全力で打ち込める環境を整え、未熟だった私達を時に厳しく、時に温かく支えてくださった先生方には、今も感謝の念に堪えません。

現在の大学の舞台上で

高校時代に活動した葉山の海で、全日本インカレ優勝を目指し日々練習に励んでおります。

高校ヨット部で得た学びは数多くありますが、中でも大きかったのはチームで目標に向かうことの楽しさと、人とのつながりの大切さです。私は高校2年生からヨット部に入学しました。それまで一人乗りのヨットしか経験がなく、高校で初めて

は、ヨットの「速さ」に徹底的にこだわる毎日を送っております。そしてその速さを追求することは、日々の生活面においても一切の妥協を許さない規律を保つことと同義です。洋上だけでなく、日常のあらゆる瞬間に己を律し、さらに高いレベルで自己を破り続けていくことが、私の目指す真の成長だと確信しています。

末筆ながら、先生方への深い感謝を胸に、これからも逗子開成の卒業生として恥じぬよう、日本の目標に向かって精進してまいります。母校の益々のご発展と、校友の皆様のご健勝を心より祈念いたします。

て二人乗りのヨットに乗りました。仲間と意見を交わしながら一つの目標に向かう経験を通して、協力することの楽しさやコミュニケーションの重要性を学びました。また、同期や後輩だけでなく、多くのOBの方々のつながりもでき、逗子開成の歴史と伝統の大きさを実感しています。

特に印象に残っている

のは、顧問の内田先生の姿です。厳しい海況下での活動後のミーティングで、ご自身の判断について部員全員の前で率直に謝罪されました。その姿から、誰に対しても素直に謝ることや謙虚であることの大切さを学びました。この経験は、現在主将としてチームを率いる上での大切な指針となっています。

逗子開成で得た多くの学びを糧に、残りの学生生活も全力で挑戦してまいります。母校ならびに関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



逗子開成コール・レーネ 第20回記念定期演奏会

日時：2026年

9月26日(土)

開演14:00(開場13:30)

場所：逗子文化プラザ

なぎさホール

入場料：無料

出演者：指揮 徳永洋明

ピアノ 飯田彰子

合唱

逗子開成コール・レーネ

演目：「真白き富士の根」

徳永洋明編曲

「ひとつ空の思い出」

徳永洋明作詩・作曲

「僕のこと」

大森元貴作詞・作曲

徳永洋明編曲 ほか

後援：逗子市教育委員会

鎌倉市、逗子合唱連盟

逗子開成学園

また、指揮・指導・作曲

編曲の徳永洋明氏は在校

生保護者でもあります。

Chorlene
Zushikaisei Junior & Senior High Schools 逗子開成コール・レーネ

第20回記念定期演奏会

愛のバトン、こころを奏でます

指揮：徳永洋明 ピアノ：飯田彰子

初演 女声合唱組曲
「ひとつ空の思い出」
徳永洋明 作詞・作曲

「僕のこと」
大森元貴 作詞・作曲
徳永洋明 編曲

「アイノカタチ」
GReeeeN 作詞・作曲

「リフレイン」
覚和歌子 作詞
徳永洋明 編曲

「ハナミズキ」
一貴 作詞
マンコタツロウ 作曲

「真夏の果実」
桑田佳祐 作詞・作曲

「キューティーマ」
伊藤千鶴 作詞
吉岡弘行 作曲

「真白き富士の根」
逗子開成に歌い継ぐ賛情歌
徳永洋明 編曲

入場無料 / 全席自由

2026 9.26(土)
13:30 開場 14:00 開演

逗子文化プラザなぎさホール

後援：逗子市教育委員会 / 鎌倉市 / 逗子合唱連盟 / 逗子開成学園
お問合せ：逗子開成コール・レーネ zushikaisei.cl@gmail.jp ☎ 044-511-1986(島田)
過去の演奏会の映像はこちらでご覧頂けます。

立教大学体育会ヨット部

主将 中川 天(高75回)

はじめまして。2023年卒の中川天です。現在は立教大学体育会ヨット部で主将を務めています。今も練習で返子の海に出るたび、海上から海センターを眺めては「ああ、あそこで育ったんだな」とつくづく思います。

一歩先に海へ出た先輩として、当時の本音を少しだけ綴らせていただきます。

を掛け合い、波間から見た景色の美しさは、卒業して3年経った今も脳裏に焼き付いています。あの時、共に海水を飲み、泳ぎ切った「アイツ」との絆は、かけがえのない一生の財産になりました。

また、先生方にはこの場を借りて感謝を申し上げます。正直、私はお世辞にも良い生徒ではなく、ご迷惑ばかりおかけしてしまいました。毎朝8時28分、ギリギリに教室へ滑り込み、「中川、また遅刻か!」とお叱りを受けるのが日課でした。それ

でも見捨てることなく導いてくださったおかげで、今の私があります。ご安心ください、大学には無事通っております。大学に入り、他校出身の友人と話すたびに痛感します。皆さんが今「当たり前」と感じている日常は、外の世界から見れば眩しいほど「特別」な経験なのだと思います。

ただ、一つだけ正直に言わせてください。私は中高時代、その「特別な環境」の中で完結していました。もつと外に目を向け、多くの人の話を聞いていれば、大学に入って、そう思う瞬間が何度もありました。目の前のことに全力で取り組むことは、もちろん大事です。ただ、先生方や先輩方の言葉に耳を傾けながら、外の世界にも目を向けてみてください。自分はどう生きたのか、その問いと早く向き合うほど、人生の航路は鮮明になります。

母校という「母港」で培った経験を胸に、皆さんの前に広がる無限の航路へ。いつかまた、どこかの海でお会いしましょう。



今でも鮮明に覚えているのは、あの「赤パンツ」を履いて仲間と海へ繰り出した遠泳の日です。鼻には海水が入り、足はつりそうになり、心の中では「なぜ21世紀にもなつて、自分は赤パン一丁で必死に泳いでいるんだ」と毒づいていました。それでも、過酷な状況で声

と、競技の楽しさに加え、チームとして、また一人の人間としてどうあるべきかという大切な教えをご指導いただきました。この時に培った学びは卒業した今も私を支える確かな土台であり、今後の人生でも私を導く道標であり続けると確信しています。

また、当時の仲間には現在それぞれの大学ヨット部で主将を務める者が多くいます。これは単なる個人の競技力向上にとどまらず、広い視野と高い座をもちながら、チーム全体を俯瞰して考え

る力を返子開成で養われたからこそその結果だと実感しています。生涯情熱を注げるものとして、そして人生の糧となる学びを得られる競技として、返子開成でヨットに出会えたことに心から感謝しております。未熟だった私たちを熱心にご指導くださった先生方、活動を支えてくださった学校関係者の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

最後にありますが、母校である返子開成のますますの発展と、未来を担う後輩たちの健闘を心より祈念いたします。

横浜国立大学体育会ヨット部

主将 小美濃寛太(高75回)

はじめまして。2023年卒の小美濃寛太と申します。現在は横浜国立大学理工学部在籍しており、体育会ヨット部に

て主将を務めております。中学生から始めたヨット競技は、今や私の人生に欠かせない大切な要素

です。入学当初は魅力的な課外活動が多く迷いましたが、海に面した返子開成ならではの環境に惹かれ、他にない新鮮な魅力を感じて入部を決めました。

また、当時の仲間には現在それぞれの大学ヨット部で主将を務める者が多くいます。これは単なる個人の競技力向上にとどまらず、広い視野と高い座をもちながら、チーム全体を俯瞰して考え

る力を返子開成で養われたからこそその結果だと実感しています。生涯情熱を注げるものとして、そして人生の糧となる学びを得られる競技として、返子開成でヨットに出会えたことに心から感謝しております。未熟だった私たちを熱心にご指導くださった先生方、活動を支えてくださった学校関係者の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

最後にありますが、母校である返子開成のますますの発展と、未来を担う後輩たちの健闘を心より祈念いたします。



中学時代は、かけがえのない同期との出会いやOP実習、夏の大会などの日々の活動を通じ、何物にも代えがたい充実した学校生活を送ることができました。

また、当時の仲間には現在それぞれの大学ヨット部で主将を務める者が多くいます。これは単なる個人の競技力向上にとどまらず、広い視野と高い座をもちながら、チーム全体を俯瞰して考え

る力を返子開成で養われたからこそその結果だと実感しています。生涯情熱を注げるものとして、そして人生の糧となる学びを得られる競技として、返子開成でヨットに出会えたことに心から感謝しております。未熟だった私たちを熱心にご指導くださった先生方、活動を支えてくださった学校関係者の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

最後にありますが、母校である返子開成のますますの発展と、未来を担う後輩たちの健闘を心より祈念いたします。



鎌倉会活動報告

稲村ヶ崎ボート遭難碑清掃

1月24日

当日は江の島と富士山を望める穏やかな晴天で、鎌倉会から会員6名と52会から宇野さんと

田邊学祖墓参

2月21日

田邊新之助先生の墓所は鎌倉五山の寿福寺にあり、鎌倉の喧騒からは隔離された静かな谷間にあります。

鎌倉会から会員5名と薬袋会長、東京会会長に参加いただき、花と線香を手向け、学校の現状を報告しました。

鎌倉会では母校に関わる大事な行事を維持していくとともに、鎌倉ならではのイベントを企画していく予定です。会員の皆様からのアイデアや希望がありましたらお聞かせください。

「少し特殊な国立大学の教員として」

秋田大学国際資源学研究所

教授 千代延 俊(高47回)

秋田大学国際資源学研究科資源地球科学専攻で教鞭をとっております。約30年前に逗子開成生だった私は素行が悪く、先生がたには御面倒をお掛けしてしまいました。大学受験に有利と軽い気持ちで始めた地学で勉強にのめり込み、秋田大学鉱山学部鉱山地質学科へ入学しました。大学卒業後は氷河期にやっと入社した会社

社の倒産や、東北大学での博士号取得、同大学での助教や国内外で研究職などの紆余曲折を経て、鉱山学部が国際資源学部へと改組された際に教員として再び秋田大学へ戻りました。

校友会の皆様は秋田大学国際資源学部を紹介させて頂くと、本学部は資源政策コース(文系)、資源地球科学コース(理学系)、資

長岡技術科学大学

准教授 加藤 哲平(高60回)

辺りも暗くなった頃、いつものようにオフィスで仕事をしていると、外線の着信が。最近多い詐欺電話を警戒しつつ電話に出ると、大先輩Hさんからの寄稿依

頼でした。大先輩の頼みとあっては、断る訳にはいきません。喜んで寄稿させていただきます。2008年度卒の加藤哲平と申しま

す。

私は高校を卒業後、北海道大学へ入学いたしました。大学ではサークル(ジャズ研)一筋。仲間と酒と音楽に囲まれ、それはそれは楽しく過ごしました。4年生で研究室へ配属されると、研究に魅力を感じ、ずるずると博士課程まで進学。長々と学生であることを認めてくれた親には、頭が上が

源開発環境コース(工学系)の3コースからなり、文系学生が地質学・流体力学などの理系講義を、理系学生が経済学・政策学などの文系講義を修得するカリキュラムで超文理融合型学部として知られています。また、学部の専門講義が全て英語で開講されるため、東南アジアやアフリカといった資源国からの留学生が多く、卒業後に母国に戻り日本との架け橋となるだけでなく、日本に残って研究や企業活動に従事する学生も多いです。

当学部は、最近ニュースを騒がせているレアメタルの輸出規制、石油・天然ガスの供給停止といった、経済安全保障の解決方法を総合的に学ぶことのできる日本で唯一の学部です。地球の成り立ちとエネルギー・鉱物資源の形成、都市鉱山などの資源開発、資源国との国際交流などのほか、地熱やCCSといった新エネルギー分野に興味がある方は秋田大学国際資源学部を検索してみてください。後輩の入学も大いに期待しており、校友会の皆様も気にかけて頂けますと幸いです。



2026年度 中学入試結果

	1次入試	2次入試	3次入試	帰国生
入試実施日	2月1日(日)	2月3日(火)	2月5日(木)	12月26日(金)
募集人数	150名	50名	50名	若干名
受験者数	364名	338名	384名	43名
合格者数	205名	82名	95名	29名
実質倍率	1.78倍	4.12倍	4.04倍	1.50倍
入学者数	283名			

2026年度 大学合格実績

国公立大学			私立大学		
東京大学	8	横浜国立大学	9	早稲田大学	69
中央大学	60	京都大学	4	東京外国語大	3
慶應義塾大学	65	法政大学	36	一橋大学	7
国際教養大学	3	上智大学	44	学習院大学	6
東京科学大学	11	東京学芸大学	2	東京理科大学	74
立命館大	10	北海道大学	14	東京海洋大学	2
明治大学	111	同志社大	2	東北大学	7
電気通信大学	3	青山学院大学	33	その他私立大	398
立教大学	32	私立大合計	940	筑波大学	4
国公立大合計	120	防衛医科大学	2	防衛大学	1
国公立医学部	13	私立医学部	34		

ペーパーですが)

りません。卒業後は埼玉大に赴任し、現在は新潟県の長岡技術科学大学で大学教員をやっております。

私の専門は交通で、その中でも割と基礎的な研究に取り組んでいます。格好良く言えば理論研究、実際はそんなに難しくもない算数をこねくり回しております。

最近自分も丸くなってきて、地域課題解決に向けた実践的な研究活動をはじめ、地方国立大学教員としてのミッションにコミットし始めています。(まだまだ

開魂！)

なかなか機会はないかもしれませんが、長岡へお越しの際はぜひお声をかけください！

水泳部OB会『開泳会』総会・懇親会開催



山重美登士会長

5月9日、母校の海洋教育センターにて、水泳部OB会を開催いたしました。

当日は、昭和の時代を支えた大先輩(1966年度卒・高19回)から、卒業したばかりの新入会員まで世代を超えた総勢41名が集結しました。潮風を感じる母校での開催ということもあり、現役時代の記憶が鮮明に思い出されます。仲間たちの近況を尋ねあい、会場は開始早々から賑やかで暖かい雰囲気となりました。

総会は山重美登士会長(高19回)の挨拶で幕を開けました。会長からは「今が幸せだからこそ、こうして皆に会ってみたいな、と思える。精一杯楽しい人生を送るためには、ひとのために生きる!すると素晴らしい仲間にも恵まれ、支えられて

最高の人生を送ることができる」との温かなメッセージをいただきました。

懇親会では、会場正面に掲げられた伝統の部旗の下、OBから現役部員まで世代を越えた交流が行われました。学生時代の先輩・後輩・先生生徒の関係性も徐々に変化し、OB会ならではの賑やかな会話を楽しみ、まさに盛会となりました。さらに今回、顧問の吉川智己先生より、OB・現役部員の全員へのサブライズとして、新たな部旗のお披露目がありました。新部旗は今年の県大会からデビュー予定。また、現役部員の素晴らしいデザインは、部員のTシャツ・部旗・キーホルダー・ステッカーと、大幅展開となりました。なお、数量限定のキーホルダー・ステッカーはOBへの販売も実施しており、売上も現役部員への支援になります。

最後には全員で肩を組みながら校歌を斉唱



し、水泳部のさらなる発展と脈々と続く絆を感じながらの閉会となりました。

開泳会では、今後このような集いを通じて、会員相互の親睦と現役部員への貢献を続けてまいります。今回参加が叶わなかった皆様も、次回ぜひお誘い合わせの上、ご参加いただけますようお願いしております。

野寄 一徳(高65回)

吹奏楽部 Road to 100th Concert 2026
～ 98年の「軌跡」～

去る2月23日、早朝の雨も止み、98周年を迎える吹奏楽部の定期演奏会「Road to 100th Concert 2026 ～ 98年の軌跡～」が横須賀市文化会館において晴天の下開催されました。



した。一昨年より「Road to 100th Concert」と称し、現役部員とOBが一丸となり創部100周年に向けての取り組みを継続しているところであります。現役部員が考えた今

回のスローガンは「軌跡」。これは返子開成の吹奏楽部が脈々と紡いできた伝統的な音を奏でる「軌跡」と、OBと共に演奏できる「奇跡」の両方の意味が込められています。

第1部の現役部員による演奏は、マーチ「春風の通り道」で爽やかに開演。続く金管8重奏による「Cathedral Prayer」、木管5重奏による「3つの小品より」はどちらも昨年度のアンサンブルコンテストで演奏した曲であり、少数精鋭での練習の成果が披露されました。Mrs. GREEN APPLEのヒットナンバー「Soranj」では楽曲の詩に込められた思いを感じながらの力強い演奏で聴衆の心を掴みました。

第2部は現役部員とOBによる合同演奏。約100名の大編成によるエネルギー溢る「ディスコ・キッド」でスタート。続く「アフリカン・シンフォニー」では、迫力あふれる演奏。「ジャパニーズ・グラフィティ」で弾

厚作作品集」では海をイメージさせる加山雄三のメロディーを温かく演奏。「たなばた」では瑞々しい感性あふれる旋律を壮大に奏で、会場からは温かな拍手が送られました。アンコールは吹奏楽部お馴染みの「開成マーチ」「名譽の砲兵隊」を演奏し、大きな盛り上がりとなり拍手をもって終演となりました。

演奏会の裏方スタッフも各方面で活躍するOBが担い、返子開成吹奏楽部としての層の厚さを感じると共に、また一つ新たな「軌跡」が追加された1日になりました。本演奏会の開催にあたり、校友会、学校関係各位には多大なご支援を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。2年後の創部100周年、またその先に向けて更に成長していく吹奏楽部とOBの活動にこれからもご期待ください。

椿 健太郎(高56回)
99th Concert
開催決定!

2027年2月23日

(火・祝日)

横須賀市文化会館

